

水産会員の横のつながりをめざす

水産原料ネットワーク

本年度食品部会として模索している課題に、国産水産原料の確保というものがあります。Radixの会副会長である別所蒲鉾店の竹並一人さんよりご提案いただき、水産原料ネットワークの計画打合せに鳥取県は出雲へ行ってきました。

Radix

Radix

■偽らざる国産をお届けしたい

この構想の端緒は、日本の魚が枯渇しているという点につきます。水産加工メーカーとして特定の港だけの仕入れでは不安定であり、そこに同業者同士のヨコの連携の切実さが生まれます。輸入カキを国産と偽装した事件は耳に新しいものの、決して笑えない課題が現在の水産加工業に横たわっている、というのが竹並さんのお話でした。偽らざる国産の確かな品物を、安定して消費者にお届けし続けるために、水産原料のネットワークを作ろう！これが構想の経緯でした。

■準備会の設置から

そこで8月、らでいっしゅぼーや水産担当の伊藤氏から水産加工会員の状況をヒアリングしたうえ、どのよ

うなネットワークが出来るのかについて、竹並さんとおおまかな骨格を話し合いました。

1. まずは課題の抽出

まずは水産加工会員の状況をアンケートにより調べ、要望等をお伺いしつつ共通の課題抽出をする。

2. 目標は次年度の会議開催

お互いに状況を共有する場として、年に1~2回、水産原料ネットワーク会議（仮称）を開催する。会議では参加者相互の原料確保の状況を情報交換するほか、日本の水産業・漁業全般を共に学んでいくため、有識者を招いた勉強会を併催する。

この2点を柱に年内は準備期間としてまずアンケートを実施します。結果を10月中旬にとりまとめ、役員会での報告を経て後、竹並さんを座長とした、有志による準備会を開催します。準備会では水産ネットワーク

の初年度の活動計画などについて話し合い、内容をまとめていきます。

■ホンの仲間作り

さてこの水産原料ネットワーク。仕組みができて本音の情報共有ができなければ意味がありません。会って話して、お互いを知ることから始めていきたいと思えます。水産の流通は経路が複雑で価格の乱高下の激しい業界です。だからこそホンの仲間作りが大切なのではないのでしょうか？ Radixの会水産原料ネットワークではその制約を乗り越えて、価格・品質・鮮度・量がお互い満足いく形で確保でき、消費者に安定して質の良いものを供給できるようにしたいと考えています。現在Radixの会水産会員は図の通り39社。皆様の参加、ご協力をお願いいたします。

(事務局・鈴木)

水産原料ネットワーク(仮称)について

Radixの会副会長 竹並一人(別所かまぼこ店)

この度、食品部会の水産関連で1つのネットワークを立ち上げたいと思います。環境破壊、地球温暖化、そして海・川の汚染など種々の問題で地域の原料調達が大変困難になりつつあります。これらについて、Radixの会の仲間で見つめ、助け合い、情報交換しあって、生産に結び付けて行けたらと考えています。

以前と比較し近年特に魚の漁獲時期がすれ込んだり、通常の漁場でない地域での魚種が水揚げされたりすることで、その土地では受け入れられず、高級魚である魚がとても安価で取引されることも起きています。そんな中で日本全国にいらっしゃるRadixの会のみなさんの情報ネットワークを張り巡らせることができれば、いろいろな面での協力で手をつなぐ事が可能になるのです。

年に何回かの集会を設け、勉強会、情報交換などを行ない、お互いの原料調達をスムーズにしていきたいと思えます。

具体的にどのような活動をやっていけるか、ぜひ皆さんの忌憚のないご意見をいただければ幸いです。

このネットワークの参加をお願いします!!

Radixの会水産会員一覧

- ① 佐藤水産
- ② 安孫子建設
- ③ 創路市漁業協同組合
- ④ 唐丹町漁業協同組合
- ⑤ 仙那島類
- ⑥ マミヤプラン
- ⑦ 住吉屋
- ⑧ 海田新白
- ⑨ マイ商事
- ⑩ ドリーム・ライトフン
- ⑪ タイコフ
- ⑫ 低確
- ⑬ オーシャンビュア
- ⑭ 千葉興漁連
- ⑮ 千倉町南部漁協販売
- ⑯ 東京ワールドチェーン
- ⑰ 相沢水産
- ⑱ ヤマネ
- ⑲ カネ富
- ⑳ 蒲り食品
- ㉑ 田比町松浦老商工業協同組合
- ㉒ 山田屋水産
- ㉓ 内浦漁業協同組合
- ㉔ 三豊興漁連
- ㉕ JFA
- ㉖ 富山興漁連
- ㉗ ケイミー・オフィス
- ㉘ 山九水産
- ㉙ 山口はぎ漁業協同組合
- ㉚ 渡邊水産
- ㉛ 別所蒲鉾店
- ㉜ マストミ冷蔵
- ㉝ 鹿塚
- ㉞ 明神水産
- ㉟ 太平洋通商
- ㊱ 福西養殖
- ㊲ なかざき南部生産組合
- ㊳ 長崎興漁連
- ㊴ 鹿児島興漁連

